

学校名	両小野中学校	
ホームページURL http://www.ryoono.shiojiri.nagano.jp	生徒数 167 名	
(1) テーマ 「郷土にふれる～ <sup>たのめひおどり</sup> 憑飛躍太鼓の伝承」 生徒が自らのテーマを追究することを通して、課題解決力や自己教育力を養う『総合的な学習の時間』は、どうあったらよいか ～地域との交流をとおして～ テーマの分類( ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・ <u>同一学年</u> ・3～4年 5～6年・学校・その他( ) 該当学年 2 年  (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい 郷土に根ざす文化を探究することにより、社会に生きる意識や郷土を大切にしようとする心を養う。 地域の身近な事象に興味・関心を持ち、自らの課題に主体的に取り組むことによって自ら学び考える力を育てる。 郷土の文化で生徒が見出した課題を追究させながら、学習活動の過程に息づく個性を大切に伸長する。 人と人の関わりの中で、既習事項を総合的に創意工夫しながら粘り強くテーマを追究できる生徒の育成。		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 時数(年間36時間) 2学年コース選択学習4コースのうち、郷土学習1(社会人文)コース、14名。担当教諭1名 ・文化財〔小野宿・小野矢彦神社・古田記念館等〕の野外調査活動、 <sup>たのめひおどり</sup> 憑飛躍太鼓を実際に体験する等の地域の伝承文化や伝統芸能に普段経験できない側面から郷土にふれる学習。 ・郷土文化を生徒の課題ごと資料や調査、地域講師の話等を基にまとめる系統学習。		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・事前に学校から地域講師へ校外調査活動の場所・目的・内容に関わる依頼書。受諾後、校内実施計画に交通手段も含めて記載(板書で、職員確認体制)。←安全管理マニュアル、危機管理 ・担当者と講師の授業計画(T・T、課題・内容)、地域講師/神主、学芸員、郷土史関係、 <sup>たのめひおどり</sup> 憑飛躍太鼓関係5名。		
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・校外施設の訪問、体験活動、地域とのタイアップ、往復路を考慮し午前2・3校時を中心に授業時間を確保する。 ・担当教諭が <sup>たのめひおどり</sup> 憑飛躍太鼓等の体験活動や課題に共に取り組み、地域の練習にも定期的に参加。		
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・自己課題と活動内容の自己評価学習カード全校配布、(各回の担当職員のコメント評価) ・コース担当者ごとの活動内容に見合ったポートフォリオや調査レポート等の評価形式。 ・通知票欄を設け、所見等を通しての客観主観評価→家庭との確認(内容・評価)		

(8) 成果と課題

- ・ 憑<sup>たのめ</sup>飛躍太鼓に関しては、地域の練習にも定期的に参加し、地域の行事や祭事の際にも演奏の機会を通して、郷土の施設を活用しながら地域との交流し、相互協力と理解を深めた。
- ・ 地域への理解や交流を深めることを通して系統的な課題をどう生徒に位置付けるか。

テーマの分類 横断的・総合的な課題（ ア 国際理解 イ 情報 ウ 環境 エ 福祉・健康 オ その他 ） 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題